

# 新たな栄養評価法の導入による栄養改善推進事業 [新規]

【35(0)百万円】

## 対策のポイント

国際生物多様性センターへの資金拠出により、アフリカの慢性的な栄養不良を改善するための新たな栄養評価法の開発及び栄養改善指導を支援します。

### <背景/課題>

- ・アフリカの栄養不良環境では地域ごとに食習慣が異なるため、食習慣・栄養調査として欧米諸国で一般的に用いられている食物摂取調査法(24時間リコール法)では、**地域毎の食習慣の特徴を踏まえた栄養摂取量の計測が困難**です。さらに、年間を通じた正確な栄養摂取状況を把握することが難しい状況にあるため、アフリカの食習慣・食文化に適応した新たな栄養評価法が必要とされています。
- ・現状の栄養評価法では、食習慣・栄養調査とそのデータ分析に多大な時間と労力がかかり、適切な栄養改善指導の実施が困難であるため、より簡易的で迅速に調査・分析が出来る**栄養評価システムの開発**が求められています。
- ・また、我が国の食品企業はアフリカ地域を新たな市場として期待しており、特に強みのある栄養食品の輸出拡大が鍵となっています。一方、各国で**どういった栄養素が不足しているか把握ができないため、ニーズの把握が課題**となっています。

## 政策目標

アフリカの食習慣・食文化に適応した栄養評価法を開発し、アフリカ地域2カ国の各2農村において調査・分析した結果を公表する。(平成33年度)

### <主な内容>

#### 1. 新たな栄養評価法の開発及び栄養改善指導

35(0)百万円

アフリカの農村の慢性的な栄養不良を改善するため、国際生物多様性センター(Bioversity)を通じ、地域農産物の栄養成分分析及び地域の生活習慣や食文化に即した**新たな栄養評価法による食習慣・栄養調査**を行うことにより、不足栄養素を特定し、**不足栄養素を補完するための栄養改善指導等の取組**を支援する。また、我が国の民間企業と連携し、地域農産物を活用した加工品の開発・販売を行い、農村部の収入改善に貢献する。

拠出先：国際生物多様性センター (Bioversity)  
事業実施期間：平成29年度～平成33年度

お問い合わせ先：

大臣官房海外投資・協力グループ (03-3502-5913)  
農林水産技術会議事務局国際研究官 (03-3502-7466)

# 新たな栄養評価法の導入による栄養改善推進事業【新規】

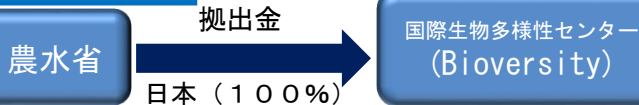
## 事業概要・目的

- アフリカの農村を対象に、現地食品の栄養成分を分析するとともに、食文化に適応した栄養評価法により、不足栄養素を特定し、効果的な栄養改善指導を行う。
- 地域農産物を活用した加工品の開発・販売により、農村部の収入改善に貢献する。

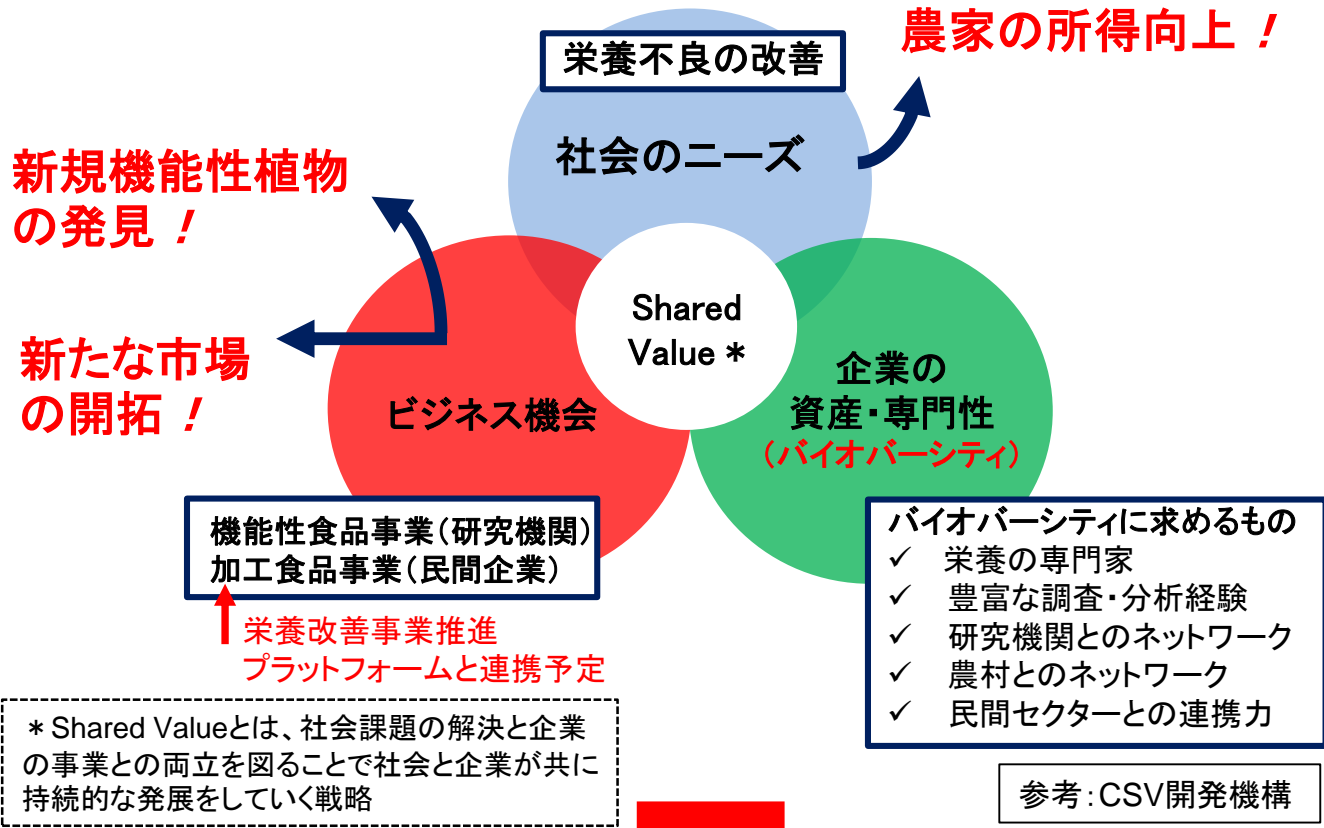
## 事業内容

- アフリカの実情に適合した栄養評価法の開発
- 地域農産物の栄養成分及び機能性の評価・分析
- 地域農産物を活用した加工品の開発・販売

## 資金の流れ



## 事業イメージ・具体例



## 期待される効果

1. 本事業で農村での不足栄養素の特定・効率的な栄養改善指導を実施し、栄養改善を効率的に促進するとともに、このスキームをマニュアル化。
2. 本スキームを他の栄養不良環境で応用することにより、広範囲の地域での栄養改善を促進。
3. 地域農産物を活用した加工品の開発・販売により、地域農産物の需要が高まり、農村部の収入が改善。
4. 本事業での調査・分析結果を広く情報発信することにより、アフリカの栄養改善に向けた我が国研究機関のプレゼンスの向上とともに、我が国民間企業の今後の海外進出を促進。